

夏花新聞

2019年5月発行 第9号

NPO 夏花（なつぱな）
石垣市白保 158
TEL : 0980-87-0302
HP : natsupana.com



「ふるさとづくり大賞」受賞しました

総務省の「ふるさとづくり大賞」平成30年度表彰式が2月に東京で開かれ、NPO夏花が団体表彰を受賞しました。

「ふるさとづくり大賞」は、全国各地でふるさとをより良くしようと尽力する個人や団体を表彰するもので、NPO夏花は今回沖縄県内唯一の受賞者となりました。

表彰式では総務副大臣より、持続可能な社会を実現するため、それぞれの活動を通して地域活性化に寄与することを願う式辞が述べられました。

東京での表彰式に続き石垣市長に受賞を報告し、今後の活躍を期待する言葉を頂きました。

長年、数多くの方に応援、協力、支援を頂きながら日々継続してきた活動がこのように表彰され、大変嬉しく思います。この受賞を励みにこれからも活動に取り組みたいと思いますので、今後ともご協力、ご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。



環境教育と教育功労賞表彰受賞



白保中学校、小学校の生徒さんとサンゴ礁のレクチャー、シュノーケリング体験、コーラルウォッチ、漁体験、グリーンベルト植栽体験等を行いました。

3月に白保中学校2年生の環境学習のまとめ発表会をしらほサンゴ村のサンゴカフェの中で行い、生徒自身が作ったパワーポイントでテーマ別に発表が行われました。

また、環境教育での夏花の活動が、地域の自然体験や環境保全教育に大きく貢献しているということで、石垣市教育委員会から教育功労者表彰を受賞し、2月3日に石垣市民会館で開催された表彰式に出席しました。

NPO夏花 10月～3月主な活動

10月 HISツアー

命草プロジェクト第1回セミナー
クラブメッド（1回）

11月 JICA研修受入

秋季赤土調査
白保中2年グリーンベルト植栽
東京農大ツアー受入

富士ゼロックスツアー受入

移住者募集の民泊受入

クラブメッド（3回）

12月 JICA研修受入

命草プロジェクト第2回セミナー

クラブメッド（1回）

1月 こどもクラブ凧作り

グリーンベルトの月桃を原料にした商品

夏花の月桃ルームフレグランス「sarmin」と月桃茶はもうご存知でしょうか。

赤土流出防止対策として植えられたグリーンベルトの月桃を原料とした、白保産の商品です。これらの商品はグリーンベルトを原料としているだけでなく、夏花の活動を持続可能なものにする取り組みもあります。

この取り組みを分かり易くご紹介する映像がついに完成しましたので、是非ご覧ください！



←こちらのQRコードを読み取り、動画サイトにアクセス
またはYouTubeで「Story of Sarmin」と検索！

グリーンベルトを原料とした夏花の商品は、昨年より石垣市ふるさと納税返礼品に選ばれている他、5月からJTAの機内誌Coralwayに掲載され、機内販売されています！商品がより多くの方に目に触れることで夏花の取り組みを理解頂き興味を持って頂ける方が増えることを期待したいです。

命草プロジェクトご報告



沖縄県農林水産部沖縄の農家民泊一期一会創造事業、スタイル試行地域で委託事業を受けて実施しました。

夏花の提案は、環境保護に加えて食と農の健康、オーガニックで長寿で持続可能な村づくりをテーマに、本来の健康で安全な食と、その食材供給のガーデンを復活させることを試みることです。

10月～1月までの期間、自然食やガーデン作りのセミナー、料理教室等を行い、多くの方にご参加いただきました。

今後は持続可能な社会つくりでは欠かせない、オーガニック性について石垣では先進的に取り組むことで、環境活動のステージをあげ、来訪するゲストへのブランドと、満足度アップに貢献することで、より質の高いグリーンツーリズムが成長することが期待できます。

命草プロジェクト第3回セミナー

冬季赤土調査

クラブメッド（4回）

2月 白保中環境学習まとめ

命草プロジェクトモニター視察

白保小5年サンゴ村勉強会

クラブメッド（4回）

3月 白保中2年環境学習発表会

白保婦人会集落散策
大浜小4年サンゴ村見学
法政大学ツアー受入
大正大学ツアー受入
クラブメッド（6回）

FUJI XEROX 海中清掃

富士ゼロックス社のボランティア団体の皆さんと白保の海での海中清掃を行いました。

雨の中、巨大な漁用ロープの塊を海中で切断し船へ引き上げました。難易度の高い活動でしたが、無事終了。ボランティアで参加された皆さんに、頭が下がります。この美しいサンゴ礁、地球を、美しい状態で、次の世代に引き継がねばと思います。



白保婦人会 集落散策とレクチャー

白保婦人会の皆さんと集落散策、サンゴと白保のレクチャーを行いました。多くの方に参加いただき、30名近く来て頂きました。

散策の後は月桃茶を飲みながらゆっくりタイム。皆さん地元にいながらも知らない事が多く、改めて白保を振り返り勉強になったと感想をいただきました。

大正大・法政大ツアー受入

3月7~11日に法政大学より17名、そして3月17~20日に大正大学より15名の学生を受け入れました。

シユノーケリングや、集落散策、農家民泊、農業体験、グリーンベルト植栽、ビーチクリーン、交流会等、盛り沢山の体験をしてもらいました。学生からは、島の文化や生活、ひと、美しい自然に触れ、貴重な経験ができたと嬉しい声が多く聞こえました。



白保日曜市



メンバーそれぞれが工夫を凝らしながらより良くしようと毎週取り組んでいる白保日曜市は14年目に入り歴史を感じるようになりました。

白保のお野菜や果物がたくさん並ぶ季節になりました。みなさまのんびりお越しください！

夏花事務局新メンバー紹介



山口美樹です。
2018年5月に福岡から白保五班へ引っ越してきました。大好きな白保に何か恩返しをしたいと思い、夏花のお手伝いをすることにしました。頑張ります！

武田浩子です。
石垣島に移住してきて5年目になります。白保についてまだ右も左もわかりませんがよろしくお願ひします。

～夏花お知らせ放送席～ 白保種取祭

放送席、放送席。さあ始まりました。今夏世も終盤にさしかかり、白保村での「稻刈り」(メカリ)がいよいよスタートしてまいりました。今シーズンの豊作を左右するのは何と言っても一番最初の「種取り」であるとの大方の予想でございます。本日はその「種取り」について、馬乗り手の方に解説をお願いいたしました。それではみなさん、この白保種取祭・カタバリにどうぞ注目下さい。



農業、主に稲作などの農耕を生業としたその昔、豊作の運命をにぎるのは苗代にまく種の質や、立派な苗を育てること、その苗が、無事に田んぼに降りることだとされてきました。

その農耕作業の成功や豊作を願う行事が白保種取祭です。

四つの御嶽(ユーヤマ)の司と公民館役員がオーセ(昔の役所)に集まり、ヤマユシ(すき)、イバムトウ(ちから草)、イバチ(丸山角形の赤白おにぎり)をクモツ(供え物)として捧げ、豊作祈願を行います。また、白保種取祭は、「カタバリ」とも呼ばれています。アガフチ(怖い面)をつけて、馬を走らせ、悪い虫がつかないように邪気払いを行う習慣があり国道からオーセまでのンマガミチ(馬の道)を人と馬が颯爽と駆け抜けます。今年も朝六時から、八重山愛馬クラブの協力の下、ンマパラシが行われました。

「犬(イン)ぬ毛(キ)ぬぐとうに、猫(マヤ)ぬ毛(キ)ぬぐとうに、生(マ)らしたぼり」昔の人が唄い願って思ったよう、今夏世も白保村が豊作でありますように、またこの「シマ」が世果報でありますように。



夏花お知らせ放送席 解説者 宮良央

【寄付のお申し込み先】

頂いたご寄付は
大切に活用させて頂きます。

- 郵便振り込み
口座番号: 01700-5-144439
- クレジット決済
<http://natsupana.com/donate>
「寄付を申し込む」からどうぞ

サンゴ礁保全サポータークラブに
入会して夏花を応援しませんか？

「夏花んちゅ」
会費: 月500円/口 (年間6,000円/口)

「夏花んちゅミニ」
会費: 年間2,000円/口

☆特典☆
(共通) 夏花新聞をメールにてお届け
(夏花んちゅのみ) ツアー参加時の割引
白保の特産品プレゼント(年1回)

【白保の皆様へ】

NPO 夏花では白保村の村づくり、サンゴ礁保全活動と一緒にしてくれる方を募集しています。

1. 民泊受入家庭(稼業体験含む)の募集

農業体験やホームステイなど、白保の暮らしを体験するプログラムを実施しています。全体プログラムは夏花が運営し、その一部で参加者の方を受け入れていただきます。受入時には宿泊費等をお支払いします。民泊許可、備品は夏花が負担いたしますのでご安心ください。

2. 白保村の紹介をする講師の募集

サンゴ礁文化などのレクチャーと集落散策等、夏花のプログラムで講師をしてみませんか(事前に学習会があるので安心です)。主に日曜午前中に勤務できる方を募集しています。講師料をお支払いたします。

ご興味のある方は下記へお問い合わせください。
0980-87-0302